

○岩手北部森林管理署の「一貫作業システム現地検討会」に参加しました。

平成28年10月27日(木)に岩手県八幡平市の鍋越山国有林で開催された、東北森林管理局主催の一貫作業システム現地研修会に、青森事務所から3名が参加してきました。

林業の低コスト化に向けて、伐採から植付けまでの一貫作業システムについて、局が各県単位で開催してきている現地検討会であり、岩手県の関係者70名以上参加の検討会でした。

現地は岩手北部森林管理署管内のカラマツの造林地であり、皆伐した後に地拵えを省略してカラマツコンテナ苗を植栽する箇所です。

まずは八幡平市の体育館において、森林総合研究所東北支所の「一貫作業の効果と課題」と東北森林管理局の「一貫作業システムの紹介」と題した講演会に参加しました。

午後からは現地に移動し、伐採跡地の状況とコンテナ苗植栽について説明がなされ、カラマツコンテナ苗をいろいろな道具を使っての植栽体験を行いました。

一貫作業システムはこれから普及していく事業であり、東北森林管理局管内では今年度から各署で実施していますが、始めたばかりの事業であるため、実際に作業した感想や意見などを聞くことができ、意見交換をすることで、今後の参考になりました。

青森事務所では今後も国有林材の有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。

